

2 事業所数

(1) 概況

平成20年の事業所数は1,876事業所で、前年に比べ3事業所増加(前年比0.2%増)した。

(表4)

(2) 業種別状況

産業中分類24業種のうち、前年に比べ増加したのは食料品、飲料・たばこ等11業種で、減少したのは窯業・土石、繊維、生産用機械等10業種であった。なお、横ばいは木材、パルプ・紙等の3業種であった。

また、業種別構成では、食料品(20.8%)、木材(10.2%)、窯業・土石(8.3%)、金属製品(7.2%)、輸送機械(5.5%)、の順に大きく、これら5業種で全体の半数強(52.1%)を占めている。

(表4、図2、図3)

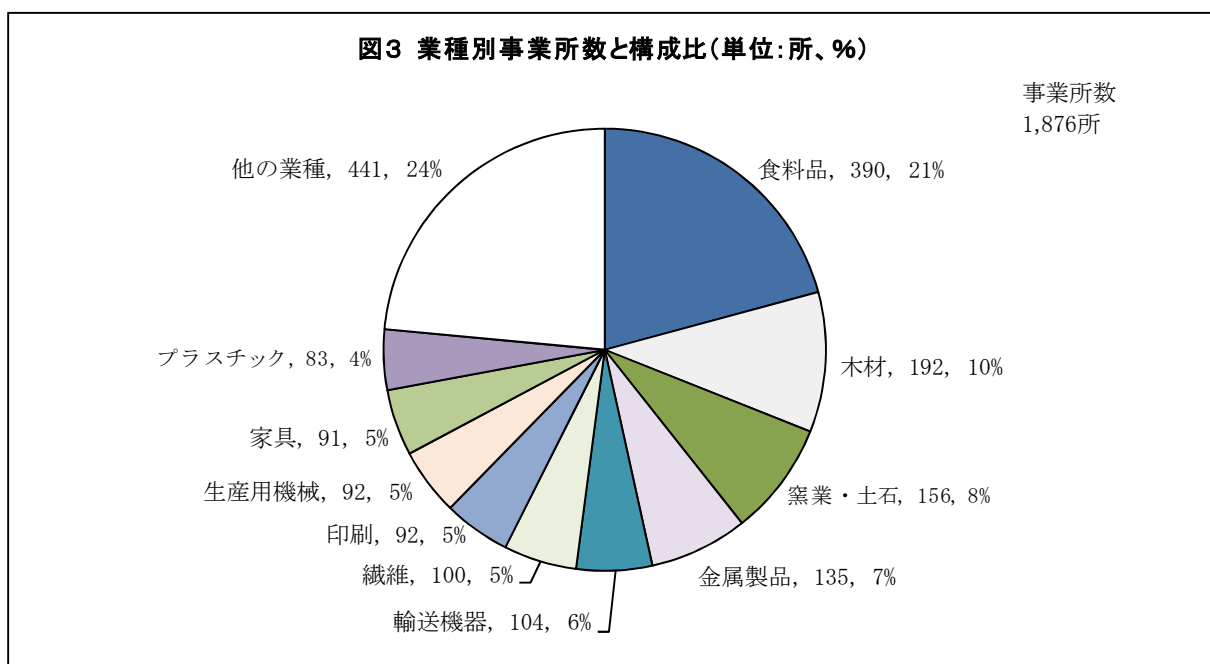
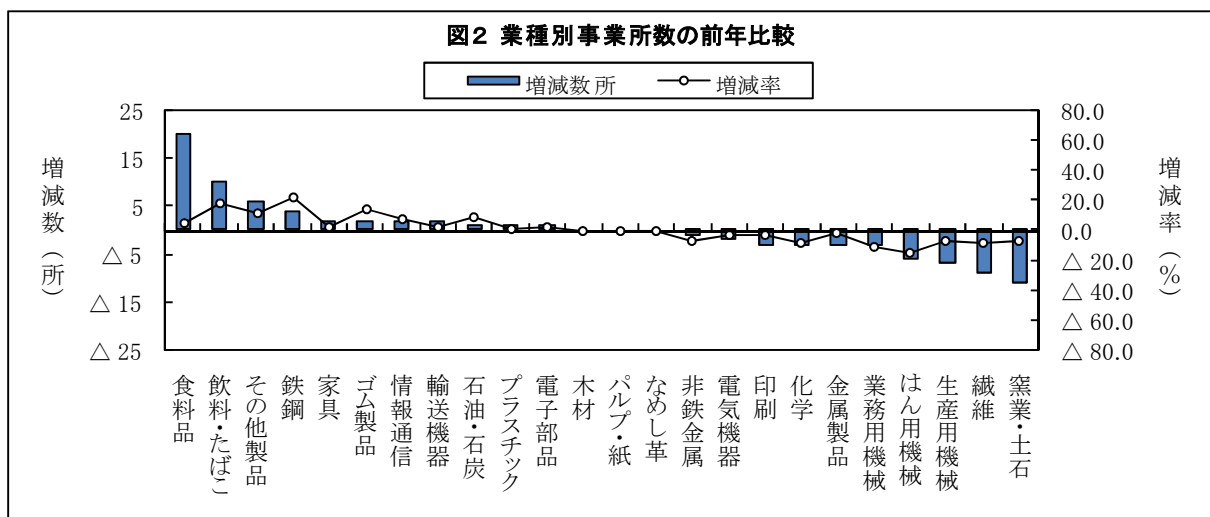


表4 業種別事業所数（従業者4人以上）

産業中分類	19年		20年			
	所	構成比 %	所	増減数 所	増減率 %	構成比 %
総数	1,873	100.0	1,876	3	0.2	100.0
09 食料品	370	19.8	390	20	5.4	20.8
10 飲料・たばこ	55	2.9	65	10	18.2	3.5
11 繊維	109	5.8	100	△ 9	△ 8.3	5.3
12 木材	192	10.3	192	0	0.0	10.2
13 家具	89	4.8	91	2	2.2	4.9
14 パルプ・紙	24	1.3	24	0	0.0	1.3
15 印刷	95	5.1	92	△ 3	△ 3.2	4.9
16 化学	39	2.1	36	△ 3	△ 7.7	1.9
17 石油・石炭	12	0.6	13	1	8.3	0.7
18 プラスチック	82	4.4	83	1	1.2	4.4
19 ゴム製品	14	0.7	16	2	14.3	0.9
20 なめし革	3	0.2	3	0	0.0	0.2
21 窯業・土石	167	8.9	156	△ 11	△ 6.6	8.3
22 鉄鋼	18	1.0	22	4	22.2	1.2
23 非鉄金属	15	0.8	14	△ 1	△ 6.7	0.7
24 金属製品	138	7.4	135	△ 3	△ 2.2	7.2
25 はん用機械	40	2.1	34	△ 6	△ 15.0	1.8
26 生産用機械	99	5.3	92	△ 7	△ 7.1	4.9
27 業務用機械	27	1.4	24	△ 3	△ 11.1	1.3
28 電子部品	35	1.9	36	1	2.9	1.9
29 電気機器	73	3.9	71	△ 2	△ 2.7	3.8
30 情報通信	25	1.3	27	2	8.0	1.4
31 輸送機器	102	5.4	104	2	2.0	5.5
32 その他製品	50	2.7	56	6	12.0	3.0

(3) 従業者規模別状況

事業所数は大規模層、中規模層で前年より減少したが、小規模層で増加となった。

・規模別構成比	小規模層（4～29人）	77.4%	（1,452事業所）
	中規模層（30～299人）	20.7%	（388事業所）
	大規模層（300人以上）	1.9%	（36事業所）

（表5、図4）

図4 事業所数の従業者規模別構成比の推移(従業者4人以上)

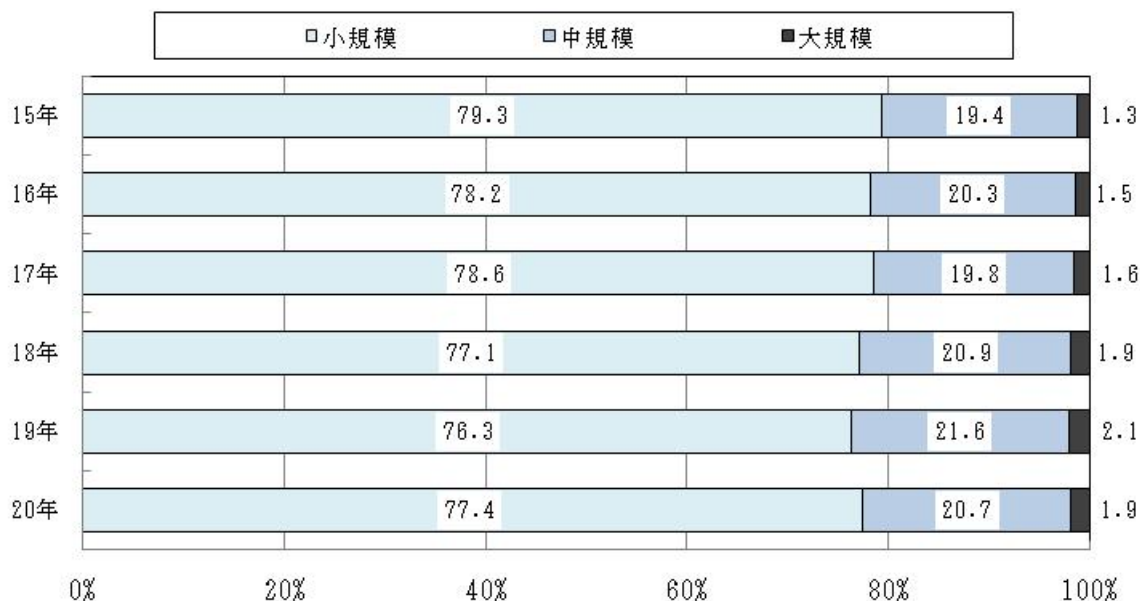


表5 従業者規模別事業所数（従業者4人以上）

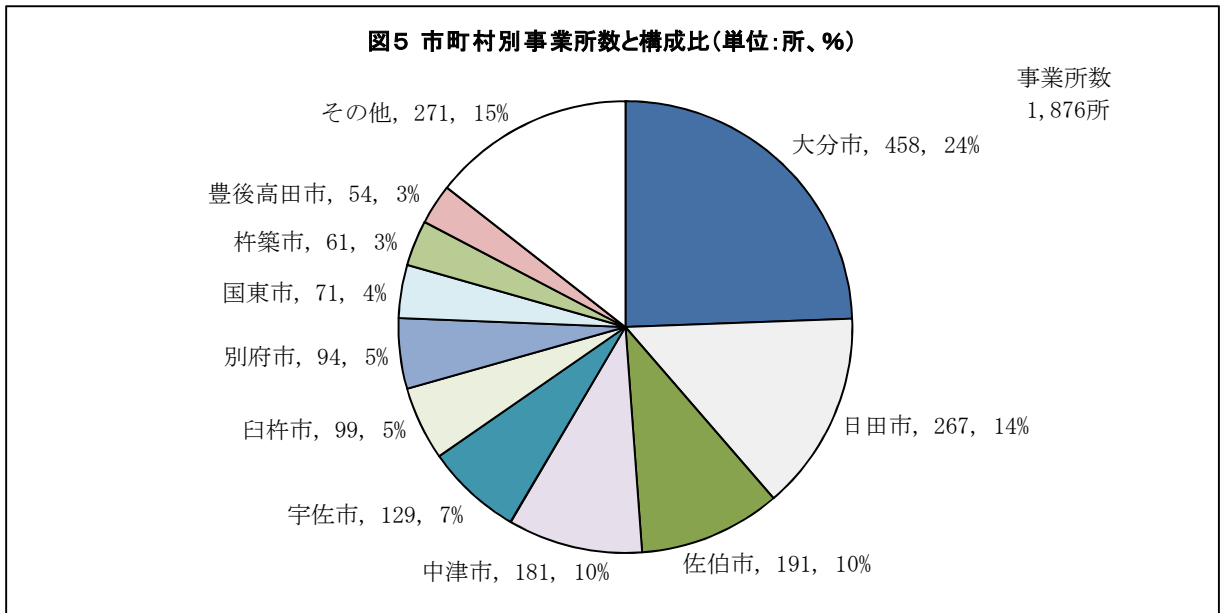
従業者規模別	19年 所	20年 所	増減		
			増減数 所	増減率 %	構成比 %
総数	1,873	1,876	3	0.2	100.0
(小規模)	1429	1452	23	1.6	77.4
4～9人	733	795	62	8.5	42.4
10～19人	469	440	△29	△6.2	23.5
20～29人	227	217	△10	△4.4	11.6
(中規模)	405	388	△17	△4.2	20.7
30～49人	143	139	△4	△2.8	7.4
50～99人	157	143	△14	△8.9	7.6
100～199人	83	86	3	3.6	4.6
200～299人	22	20	△2	△9.1	1.1
(大規模)	39	36	△3	△7.7	1.9
300～499人	23	22	△1	△4.3	1.2
500～999人	11	8	△3	△27.3	0.4
1000人～	5	6	1	20.0	0.3

(4) 市町村別状況

前年に比べ増加したのは10市町で、減少したのは8市町村であった。

また、市町村別構成では、大分市(24.4%)、日田市(14.2%)、佐伯市(10.2%)、中津市(9.6%)の順に大きく、これらの4市で全体の6割弱(58.5%)を占めている。

(表3、図5)



(5) 地区別状況

中部地区、豊肥地区で前年より減少した。

(表3、図6)

